

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
ビジネス	2 単位 会計	簿記・会計の基礎	駒田 純久	1 年次	春

授業のキーワード	簿記のしくみ、企業と会計、ビジネスのしくみ
授業の概要	初めて簿記を学ぶ人のための授業です。内容として、日商簿記検定4級レベルからはじめ、後半からは3級に向けた学習となります。また電卓も必要になります。
期待される学習成果（目標）	1. 簿記・会計のしくみを理解し、日商簿記4級に合格できる知識が身につきます。 2. 会計の知識を通じて、企業のビジネス活動についての理解が深まります。

授 業 展 開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第1講	簿記の意味と目的	授業のオリエンテーションと会計学について説明します。	第9講	試算表と精算表	試算表と精算表を作成します。
第2講	貸借対照表と損益計算書	貸借対照表と損益計算書から企業のしくみについて学びます。	第10講	決算と財務諸表の作成	決算の手続きを学び、財務諸表を作成します。
第3講	取引と勘定	簿記会計における取引について説明します	第11講	当座預金と小口現金	ここから3級の内容に入ります。
第4講	仕訳と転記／仕訳帳と総勘定元帳	簿記の中心となる仕訳作業を学びます。	第12講	商品売買・商品有高帳	分記法と三分法、仕入帳・売上帳、商品有高帳について学びます。
第5講	現金・預金／商品売買	現金・預金および商品の売買の関する仕訳を練習します	第13講	売掛金元帳と買掛金元帳	売掛金元帳と買掛金元帳について学習します。
第6講	売掛金・買掛金と債権・債務	債権と債務に関する仕訳を練習します。	第14講	その他の債権・債務	未収金や未払金、前払金や前受金について学びます。
第7講	固定資産／純資産（資本）	固定資産と純資産に関する取引の仕訳を練習します。	第15講	ここまでのまとめと復習	ここまでの復習をします。
第8講	収益と費用	収益と費用に関する取引の仕訳を練習します。	定期試験		15回の講義の後、筆記試験を行います。
評価方法		定期試験（80%）と発言などの授業貢献度（20%）で評価します。			
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
加古宜士・穂山幹夫監修『段階式日商簿記3級商業簿記 第13版』税務経理協会、850円。（秋学期の財務会計でも使います）			新井清光・加古宜士・川村義則（2013）『最新商業簿記 四訂版』実教出版、2,800円。 柳 裕治編著（2015）『スタディガイド 基本簿記 第2版』中央経済社、2,200円。 水口剛・平井裕久・後藤晃範（2011）『企業と会計』税務経理協会、2,200円。		